

ふくもに BOOK

掲載企業

12社

2026年3月作成

ふくしまの障害者雇用の先進企業
“もにす認定企業”の
取り組みをご紹介します

TAKE
FREE

ご自由
にお持ちください

厚生労働省

福島労働局

目 次

▶ はじめに	2
ー認定企業の紹介ー	
▶ 有限会社 利通	3
▶ 株式会社 このの	4
▶ ミライズ 株式会社	5
▶ いわき小名浜菜園 株式会社	6
▶ 社会福祉法人 郡山福祉会	7
▶ 株式会社 あいの里	8
▶ 社会福祉法人 啓誠福祉会	9
▶ 東北住電精密 株式会社	10
▶ 株式会社 東北たまがわ	11
▶ Seiko 株式会社	12
▶ ファーリア社会保険労務士法人	13
▶ 株式会社 三義漆器店	14
▶ 障害者雇用Q&A	15
▶ 福島県の“もにす認定企業”一覧	17

はじめに

障害者雇用について考え始めたとき、

「自社に合う働き方はあるだろうか」

「どんな準備が必要なのだろうか」

そんな疑問を感じる方も多いのではないのでしょうか

本冊子では、福島県内の“もにす認定企業”の取り組みをご紹介します。

障害者雇用をはじめたきっかけや、障害のある方の働き方、ともに働くための工夫、当事者やともに働く方の声など、実際の現場での経験を中心にまとめました。

また、職務の選び方や社内での理解の得方、困難があった際の対処法など、障害者雇用を検討するなかでよく聞かれる疑問について、もにす認定企業のみなさまの生の声をQ&A形式で掲載しています。

「雇用をするか分からない」「まずは事例を知りたい」、そんな段階の企業の皆さまにも、気軽にお読みいただける一冊です。

本冊子が、次の一步を考えるきっかけになれば幸いです。

“もにす認定制度”とは

「障害者雇用に関する優良な中小事業主に対する認定制度」（通称：もにす認定制度）とは、厚生労働大臣が障害者の雇用の促進や安定に関する取り組みなどの優良な中小事業主を認定する制度です。



企業と障害者がともにすすむ = “もにす”

※本冊子は、福島県内の認定企業15社（令和8年3月1日現在）のうち、12社の協力をいただき作成しています。

全国初
認定！

(有)利通

会津若松市/製造業



企業HP

企業データ

所在地：会津若松市門田町黒岩石高
241-2

従業員：34人（うち障害者4名）

※令和8年1月31日現在

認定日：令和2年10月21日

事業内容

電気機械器具製造業です。主に電子部品の組立などを行っています。

障害者雇用のきっかけは

約20年前、主要取引先の海外移転に伴い国内生産からの撤退を余儀なくされ、多くの従業員が離職する危機に直面しました。新たな業務への変更と新規採用を迫られるなかで、ハローワークからの紹介で聴覚障害のある方を採用したことが始まりです。

障害のある従業員の働き方

主に電子部品の組立業務に従事しています。当初は単純な反復作業が中心でしたが、現在は個々の特性に合わせた多品種少量生産の体制を整え、複数の工程を担当できる「多能工」としての育成も進めています。

ともに働くための工夫

「社員全員が仲間」という小冊子を配布し、全社員が理解を深められるよう意識しています。また、外部講師を招いたセミナーを年1～2回実施し、資格を持つ職業指導員による月1回の面談や、手話通訳者を交えたティータイムを設けるなど、本人の悩みや問題点を早期に吸い上げる仕組みを作っています。

企業で働く当事者の声

- ・個人の特性に合わせて仕事を提供され、達成感を得られる環境です。また、手話通訳者を交えたコミュニケーションの場があるなど、本人の抱える問題点に対して会社全体で対策を講じてくれる安心感があります。
- ・多品種少量生産への取り組みにより、自分にマッチした仕事が増え、一つの工程だけでなく多様なアイテムを扱えるようになることに達成感とやりがいを感じられます。

メッセージ



代表取締役
眞鍋 利光さん

障害者雇用は社長一人の力では成し遂げられません。外部機関（ハローワーク、支援学校、職業センター等）とのネットワークを構築し、社員全員が「支援者」となる体制が重要です。また、健常者のケアにも目を向け、全社員が安心して働ける環境を整えることが、結果として企業の成長や「もにす認定」取得のような自信に繋がると確信しています。

作業風景です
真剣に作業に当たっています



半導体素子の組付け作業
を行っています



拡大鏡を使用した外観検査の
様子です

(株)こんの

福島市/卸売業



企業HP

企業データ

所在地：福島市陣場町2-20

従業員：163人（うち障害者10名）

※令和8年2月16日現在

認定日：令和3年4月15日

事業内容

主に古紙を集めて圧縮梱包し、製紙メーカーに再生紙原料として卸しています。また、廃棄物の収集運搬や個人宅の片付けなどにも取り組んでいます。

障害者雇用のきっかけは

「社員は宝」という理念のもと、すべての社員の幸せを追求するなかで、障がいのある方も活躍できる会社であるべきだと考えたことが出発点です。また、社長が師と仰ぐ「人を大切にする経営学会」会長の坂本光司先生のご指導のもと、先進企業の取り組みに触れたことや学びを通じて、企業として積極的に障がい者雇用を進めようと決意して障がい者雇用が始まりました。

障害のある従業員の働き方

古紙や資源物の選別、ペットボトルの圧縮・梱包など、会社の主力となる現場業務に従事しています。勤務形態は本人の希望や体調に配慮し、短時間勤務からスタートや通院に合わせた勤務時間調整を行うなど、一人ひとりに合った働き方を整えています。

ともに働くための工夫

障がいのある方を特別扱いをするのではなく、一人ひとりの特性を理解し、安心して力を発揮できる環境を整えることを大切にしています。安全面の配慮や柔軟な勤務形態、丁寧なコミュニケーションを通じて、不安を取り除き、ともに成長できる職場づくりを心がけています。

企業でともに働く方の声

共に働くなかで、できないことに目を向けるのではなく、それぞれの強みや可能性に気づくことの大切さを実感しています。障がいのある社員が前向きに仕事に向き合う姿は周囲の励みとなり、自然と思いやりや助け合いの風土が育ちました。互いに理解し合うことで、職場全体の結束力と成長につながっていると感じています。

メッセージ



課長
小林 剛さん

障がい者雇用は特別な取り組みではなく、社員一人ひとりの幸せを追求する経営の延長にあるものだと考えています。実際に推進するなかで、職場の思いやりや一体感が高まり、会社全体の成長にもつながることを実感しました。ともに働くことで、お互いが学び合い、支え合う風土が育っています。



入荷した古紙を土間に広げて選別しています



新春の集いの様子です
毎年1月に社員が一堂に会してセレモニーを行います



紐切り選別機を使用して、ビニールひもなどを取り除いています

ミライズ(株)

福島市/サービス業・専門サービス業



企業HP

企業データ

所在地：福島市福島市町庭坂

遠原三3-16

従業員：36人（うち障害者5名）

※令和7年12月31日現在

認定日：令和3年9月22日

事業内容

警備事業は質の高い現場設計と人材をご提供、コンサルティング事業は組織開発等を通じ働く人が本来の力を発揮できる環境づくりのお手伝いをします。

✨ 障害者雇用のきっかけは

後天的に障害を負う可能性は誰しもあります。困ったときは「ミライズ」があるという希望を持って欲しい、その一心で雇用を進めてきました。今後は企業・団体の経営層、担当者向けにも「経営戦略としての障がい者雇用」の観点を発信、社会全体として「区別しないフェーズ」に向けての一助となるよう尽力してまいります。

✨ 障害のある従業員の働き方

現在は警備業務に従事いただいておりますが、職域の拡大にも前向きに取り組んでいます。障害の有無に関わらず「仕事ではなく人に仕事を合わせる」を念頭に、働く人それぞれの特性・事情に合わせ、フルタイム・パート勤務を選択いただいております。

✨ ともに働くための工夫

全社向けに「雇用相談窓口」を設置、加えてご家族も相談できる体制を整備しました。警備業では法定教育が義務づけられていますが、使用する資料へのルビ振りを行う、自社開発の教育アプリをWebサイト等と連動させ、言葉の意味も調べられる仕様にするなど工夫をしています。

✨ 企業で働く当事者の声

- ・自分ができないこと等があるとみんなでフォロー。自分の苦手なことがひとつひとつできるようになり会社やお客さんから信頼されることでやりがいのある仕事だと感じる事ができた。
- ・通院や勉強など個人的な休暇が取りやすく、自分なりのワーク・ライフ・バランスを見つけることができた。誰かの何気ない一日が、何気なく過ぎていくこと、そのために力を尽くすことがたくさんの喜びを運んでてくれることを、この仕事から学んだ。

メッセージ



代表取締役
高橋 大樹さん

全社一丸。まず経営層が先頭に立ち、社内に発信し、その後管理者層、一般社員に必要な教育を履修してもらうことが重要だと考えています。また定期・不定期面談を実施する、常に相談できる門戸を開いておくことでご本人はもとより、ご家族・後見人の方々の安心感に繋がるということを感じています。そして行政・障がい福祉サービス業者とも積極的に意見交換をすることでも雇用に対するヒントをいただけることもあります。



片側交互通行の誘導をしています



誘導方法について相談中…



警備業務の研修風景です

いわき小名浜菜園(株)

企業データ

所在地：いわき市小名浜住吉入海
3-1

従業員：202人（うち障害者8名）

※令和7年12月31日現在

認定日：令和4年1月20日

いわき市/農業



企業HP

事業内容

生鮮トマトの生産・販売を行っています。国内最大級規模の温室で通年安定供給を実現し、GAP認証農場として持続可能な農業を推進しています。

障害者雇用のきっかけは

地元の支援学校から体験学習の受け入れ要請をいただいた際、当社は「ぜひお越しください」と即答しました。

体験学習当日、実際に障がいのある生徒たちが作業に取り組む姿を目にし、「障がい者にもできる作業があり、さらに障がい者に向いている作業もこの職場にはある」と確信しました。これをきっかけに、関係機関と連携を図りながら、障がい者雇用に積極的に取り組むようになりました。

障害のある従業員の働き方

主に温室内の清掃（美化）作業に従事していますが、障がい特性や本人のスキルに応じて、収穫や設備メンテナンス、配送業務を担当している方もいます。勤務形態は契約社員が中心で1日7時間勤務としていますが、障がいの程度に応じて短時間勤務とする場合もあります。

ともに働くための工夫

知的障がいのある方に対しては、写真やイラストを活用した作業手順書を作成し、視覚的に理解しやすい環境づくりを行っています。また、雇用前には体験就労の期間を設け、本人と職場双方が就労可能かどうかを確認したうえで採用するなど、ミスマッチの防止にも配慮しています。

企業で働く当事者の声

- ・周りの皆さんがとても親切で、分からないことや不安な点があればすぐに質問できる環境が整っていることに安心感を持っています。
- ・主に一人で行う作業を担当しているため、業務に慣れてからは指示を受けなくても、自分で考えながら主体的に作業を進めることができます。
- ・清掃作業において、作業のスピードが上がり、1日にこなせる量が増えていくことにやりがいを感じています。

メッセージ



総務経理課 課長
佐川 貴之さん

障がいの特性は一人ひとり異なり、同じケースはありません。そのため、雇用する側にも正しく理解する姿勢と力が求められます。各関係機関からの支援や助言をいただきながら学びを重ね、理解を深めたうえで採用を進めることが重要であると考えています。

また、障がいのある方ができるだけびのびと働けるよう、社内一丸となって職場環境づくりに努めており、長期的に安心して就労できる環境を整備することが何より大切だと考えています。



年間出荷量は
なんと3,000トン！！



彼らのおかげで
ハウスはいつもピカピカです

(社福)郡山福祉会

郡山市/福祉



企業HP

企業データ

所在地：郡山市片平町妙見館1-2

従業員：109人（うち障害者3名）

※令和8年2月1日現在

認定日：令和4年9月2日

事業内容

高齢福祉サービス（特別養護老人ホームうねめの里、地域密着型特別養護老人ホームうねめの里はるひめ、他）を提供しています。

✧ 障害者雇用をしてよかったこと

介護（有資格者）、介護補助業務、介護周辺業務、環境整備業務（未経験の方・高齢の方・障がいを持っている方）と業務の切り分けを行ったことで、施設全体の介護サービスの質の向上へつながってきていると感じています。

✧ 障害のある従業員の働き方

居室、リビング、トイレなどの清掃や、介護施設全般の環境整備を担っています。中庭花壇の手入れや敷地内の運転（食事運搬）などを担当している職員もいます。勤務時間や休日は本人の希望を聞きながら全体の調整をしています。

✧ ともに働くための工夫

障がいのあるなしに関わらず、高齢の方など一人ひとりの特性を踏まえて役割分担をしています。また、業務の振り返りがしやすいように、一人ひとりに対し、特性に応じた記録シートを用意しています。

✧ 企業でともに働く方の声

健康管理に気を付けて10年以上精勤している人、細やかな気遣いができて率先して動いてくれる人、真面目にコツコツ仕事をしている人など、その働く姿から学ぶことが多いです。これからも互いに協力し合う職場でありたいと思います。

メッセージ



総務部長
豊田 英人さん

当法人は18歳から78歳まで、幅広い年齢層の職員がいます。障がい者に限らず、子育て期間中、親の介護など、個人の抱える事情は様々ですので、希望する働き方を申請してもらい、互いに認め合い、信頼し、協力し合う風土を大切にしています。



床拭き掃除中
隅々まで丁寧に磨きます

ユニットリビングの様子
施設全体の環境整備を担っています



施設内の秋祭り
屋台がずらりと並びます

(株)あいの里

郡山市/福祉



企業HP

企業データ

所在地：郡山市亀田1-51-11

従業員：293人（うち障害者11名）

※令和8年2月11日現在

認定日：令和6年1月12日

事業内容

平成15年設立。現在、郡山市、福島市、二本松市、本宮市、川俣町の5市町で17の地域密着型介護事業所を運営しています。

障害者雇用のきっかけは

当社は平成15年の設立以来、「お客様に対して誠心誠意のケアにつとめ、地域の方々とのふれあいを通じお客様の満足と信頼を得る」を基本理念として掲げてきました。この理念のもと、地域の一員として誰もが役割を持ち、その場所に集う人たちが皆「幸せになれるような場所づくり」を追求するなかで、障がいの有無に関わらず共に働く仲間を迎え入れることは、私たちにとって自然なことでした。

障害のある従業員の働き方

主な業務は、清掃業務や利用者様の生活全般のサポートなどの介護業務全般です。勤務形態はフルタイムの正社員として働く方からパートで働く方と様々です。現在は、福島県内の事業所で11名の障がいのある職員が活躍しております。フルタイムで働く方が対象となりますが、令和6年1月からは段階的に「週休3日制」を導入するなど、すべての職員が無理なく、かつ意欲的に働ける環境づくりを進めています。

ともに働くための工夫

新しく入职される方に対しては、業務経験や障がいの有無に関わらず、最初は「出来なくて当たり前」という姿勢で接することを心掛けており、職員一人ひとりの個性や成長スピードに応じた丁寧なサポートを大切にしています。大切なのはまず取り組むことです。各自の自己表現を尊重し、自信を持って取り組めるよう周囲がフォローする体制を意識しています。

企業で働く当事者の声

- ・利用者さまと積極的に関わることができるということがいいところです。毎日の「あいの里体操」を利用者さまとやるのも楽しいですし、お誕生日会や敬老会などのイベントもいろんな余興に参加したりしてとても楽しいです。
- ・最初は掃除業務が多かったのですが、今では排泄介助や入浴介助もできるようになりました。少しずつできることが増え、利用者さまに喜んでもらえることが嬉しいです。

メッセージ



代表取締役
渡邊 利さん

「あいの里で働きたい」という方がいらっしゃれば、私たちは仲間として共に仕事をしていきます。適切な配慮と理解があれば、誰もが貴重な戦力になれると思っています。まずは一步、取り組んでみるのが大切です。



衛生維持は介護事業所ではとても大切な仕事のひとつです



お食事の提供では、やさしく丁寧な声掛けを心掛けています



県内17ヶ所で
介護事業所を運営しています

(社福)啓誠福祉会

小野町/福祉



企業HP

企業データ

所在地：田村郡小野町小野新町団子田36-1

従業員：135人（うち障害者5名）

※令和7年2月1日現在

認定日：令和6年4月5日

事業内容

特別養護老人ホーム、機能訓練特化型デイサービス、居宅介護支援事業所、認定こども園の運営を通じて、地域社会への貢献を目指しております。

障害者雇用のきっかけは

雇用率の引上げにともない、障害者雇用に力を入れることになりました。ハローワークや支援機関に相談をしながら、「精神・発達障害者しごとサポーター養成講座」に参加するなど、職員の知識の向上を目指しました。

障害のある従業員の働き方

介護業務、清掃業務など、特性に合わせた仕事をしています。心身に無理なく勤務するために、勤務時間の短縮、連続勤務にならないうように週の途中に休日を入れること、休憩の取り方を工夫するなどの配慮をしています。さらに、働く環境がより良くなるよう、2か月ごとに面談を行っています。

ともに働くための工夫

人事担当者が相談窓口となり、なにか不安な事があったときは言っただけでよい、日頃からコミュニケーションを取ることを大切にしています。ただ、障害のある方だからといって特別、意識していることはありません。

企業で働く当事者の声

- ・マニュアルの作成等、障害の特性を考慮していただけるので働きやすいです。
- ・施設の利用者さんの元気な様子をみると、自分も役に立っているのだなと感じます。

メッセージ



事務リーダー
0さん

障害者の方だからといって何か特別なことはなく、対応は一般職員と同じで、丁寧にコミュニケーションを取り、話を聞くことを大切にしています。また、困ったときはいつでも相談できるよう、支援機関と関係性を築くことも意識しています。



利用者様の居室を清掃しています
ベッドの下まで念入りに！

トイレ清掃中
ゴミ袋の袋掛けをしています



施設だけではなく、公用車の
掃除も行います

東北住電精密(株)

三春町/製造業



企業HP

企業データ

所在地：田村郡三春町深作10-1

従業員：62人（うち障害者3名）

※令和8年2月1日現在

認定日：令和6年7月17日

事業内容

切削工具（超硬ドリル及びカッター等の鋼工具）製造を行っています。

障害者雇用のきっかけは

雇用率未達の解消がきっかけですが、ハローワークや支援機関・支援学校の先生方にサポート頂きながら実習受け入れを進めるなかで、個々の障害特性は強みとなり、長所であると実感。

多様な特性・個性が活きる組織が強くなると感じると同時に、受け入れる社員側の自然体な配慮や声掛け・協力体制の姿勢も人材成長に繋がり、組織の一体感も醸成できる点からも、さらに採用活動に力を入れました。

障害のある従業員の働き方

製品の素材受入と製品別の振り分け・加工ラインへの素材準備、製品の検査・包装作業・ラベル貼り等、障害特性や個性、得意不得意を踏まえて、それぞれの能力が活きる部署で活躍中。勤務形態は全員正社員となりますが、仕事に慣れるまでは短時間勤務からはじめ、本人の希望と就労状況、体調面や生活リズムの安定等を踏まえて正社員へ切り替えた社員もおります。支援機関からアドバイスを頂きながら、個々のモチベーション向上も踏まえ、正社員登用と現在の活躍に繋がっています。

ともに働くための工夫

特に配属先における障害特性の説明と理解は大切。社員同士が誤解なく、必要不可欠な人材として当たり前に取り組むことが出来る組織を目指しています。障害のある社員との対話・面談はもちろん、配属先との対話の場も設けて、情報を共有し、長所は伸ばし、改善や困りごとは抱え込まずに社内で相談できる体制を構築。また、支援機関のサポートを頂きながら、個人の障害特性の理解を深め、課題を一つ一つクリアしていくことで、安定した雇用継続に繋がっていると思います。

企業で働く当事者の声

- ・ミスをしてしまった際には、振り返りを経て、再発しないように作業環境の改善やチェック体制がとれる仕組みづくり等、自分の意見も踏まえて検討・配慮してくれた。不明な点はしっかり質問できる。また、自然体で働くことができ、仕事に集中できる。
- ・自分の性格にあった仕事内容の為、集中して取り組むことができ、達成感がある。仕事を任せてもらえたときや同僚から頼られたときに、嬉しく自信にも繋がる。

メッセージ



主査
伊藤 英美さん

一緒に働く社員の思いを大切に、特性に応じた必要な配慮は続けながらも、作業の適正を踏まえた上で、自分の役割や居場所を明確にし、自信をもって日々働くことが、安定した組織作りと雇用継続に繋がっていると感じております。また、職場見学や実習期間をしっかりと設け、作業内容とのマッチング、働きたい・働いていける環境か等、企業側だけでなく、実習頂く側もしっかり判断することが重要だと思います。社員、支援機関、ハローワークの皆さんとの協力体制を構築し、良い意味で多くの関係者をポジティブに前向きに巻き込んでいくことで、更なる社内理解と組織の強化、安定した雇用の実現に繋がると感じております。



鋼工具製品の寸法測定
検査準備を万全に測定開始！



ドリル製品の包装作業
伝票と製品の照合も行います



ドリル製品の素材出し
作業。製番・製品毎に対
応が異なります

(株)東北たまがわ

白河市/生活関連サービス業



企業HP

企業データ

所在地：白河市白坂石阿弥陀1-2

従業員：75人（うち障害者6名）

※令和8年2月1日現在

認定日：令和6年10月2日

事業内容

ホテルや病院等のシーツやカバー・タオル類、衣類等を回収し、クリーニングをして納品しています。

障害者雇用のきっかけは

支援学校から職場実習依頼があり、高校1年の男子生徒1名(知的障害)の職場実習を受け入れました。その生徒が高校3年生まで毎年、当社で職場実習をして頂き、本人の希望もあり就職をして頂いた事がきっかけです。

障害のある従業員の働き方

現在、6名の従業員がおり、回収したクリーニング品の仕分、洗濯、仕上作業等、色々な仕事をして頂いています。障害のある従業員については、当初8時～17時の勤務形態で働いて頂きましたが、体調面や作業の内容等で長く続かないことも。今は入社前に現場実習を行い、作業内容を確認してもらっています。又、短時間から始めて作業に慣れてきたら勤務時間を徐々に長くしていくなど、本人に無理のない勤務形態にしています。

ともに働くための工夫

1人1人の特徴を理解し、本人に確認した上で働く職場の周りの人達にも特徴を伝えて、理解して頂けるようにしています。また、相談しやすい職場作りをしています。何かあればその都度相談を頂き、周りの人と話し合いを行い、解決できるようにしています。

企業で働く当事者の声

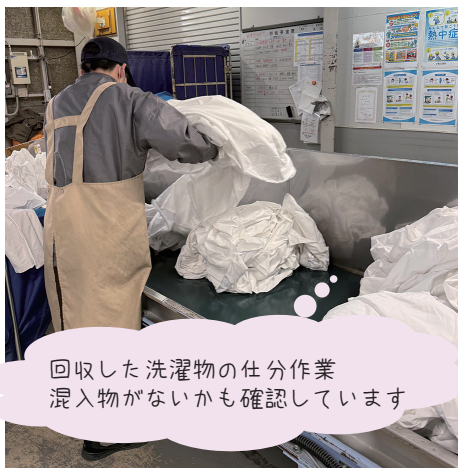
- ・職場の良いところは、お互いに声を掛け合って仕事出来る所、職場の人達が優しい所です。
- ・色々な作業があり、1つの作業が出来たら次の作業を覚える。段階を踏んで覚える事があるのでやりがいがあります。

メッセージ

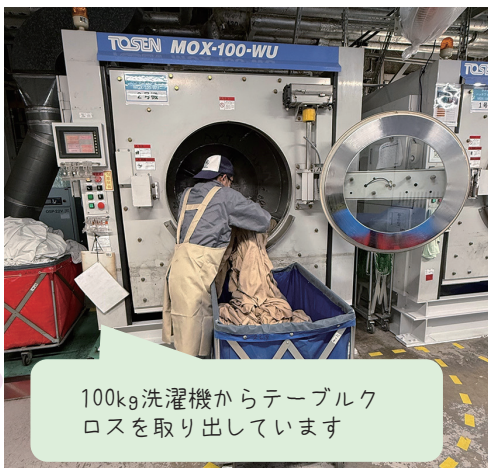


生産部部长
根本 節子さん

当社を選んで就職をして頂いたので、無理せずに長く働いて頂きたいと考えています。また、障害のある方と健常者が共に同じ職場で仕事をするためには、お互いが理解しておかなければならない事、ルールなどが必要だと感じています。職場のなかでも障害のある方を受け入れ難い人もいます。一緒に業務を行うなかで色々な問題が出た場合は、そのままにせずに、個人面談を行いお互いに働きやすい職場を目指しています。



回収した洗濯物の仕分作業
混入物がないかも確認しています



100kg洗濯機からテーブルクロスを取り出しています



ロール機にホテルなどのベッドカバーを掛けています

Seiko(株) (旧：柳沼精工(株))

二本松市/製造



企業HP

企業データ

所在地：福島県二本松市岡ノ内
274-3

従業員：150人（うち障害者6名）

※令和8年3月2日現在

認定日：令和7年3月5日

事業内容

高い専門性を持ち、塗装・メッキなどの表面処理から金型設計・精密プレス加工までを自社内で一貫対応しています。

障害者雇用のきっかけは

障害者雇用促進法による法定雇用率を達成するために雇用をはじめたのがきっかけです。

障害のある従業員の働き方

社内の仕事内容を、仕事の「難易度」と「作業時間」に細分化して、障害のある方でも従事できる仕事を分離し提供しています。そのため、事前に職場訓練を受入れ就労に対するミスマッチを減らす取り組みを行っています。

ともに働くための工夫

障害者とともに働く従業員が外部研修に参加して、障害者について学ぶなど、障害者雇用についての知識と理解を深め、障害者が働きやすい職場環境づくりに努めています。また、障害者のある従業員が配置される部署には、業務における困りごとが相談できるように、支援担当となる従業員を配置しています。さらに、その支援担当者がひとりで抱え込まないよう、支援担当者が相談できる取締役員も選任しています。

企業で働く当事者の声

- ・仕事を休みがちになった時もまわりの理解があり、仕事の内容の変更などを提案してくれます。
- ・働きやすいようにしてくれる職場なので、任された作業は出来る限りミスのないように仕上げようと思って取り組んでいます。会社に貢献できる人材になれるよう、日々頑張っています。

メッセージ



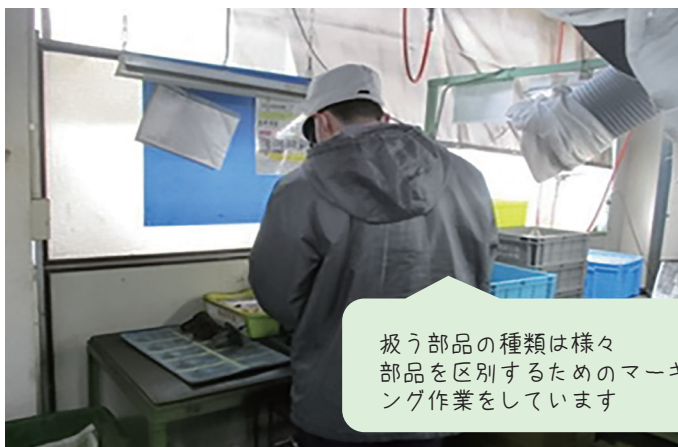
代表取締役
渡邊 勝美さん

①障害者を雇用できる組織・人に優しい組織づくり（企業エンゲージメントを高め、より良い物づくりをする）、②職場管理責任者のマネジメント力向上（常に自ら考え行動する力・判断力を身に付けさせる）、③障害者のある従業員について、本人の能力を踏まえ、柔軟な労働時間を取り入れる（勤務時間の変更・勤務時間の延長や短縮）などを意識して、お願い・押しつけ・遠慮・甘えではなく、障害者も企業も共に幸福になれる関係構築が大切だと考えます。

金属製品の塗装前に、塗装箇所以外にマスキングをしています



扱う部品の種類は様々
部品を区別するためのマーキング作業をしています



ファーマ社会保険労務士法人

福島市/専門サービス業



企業HP

企業データ

所在地：福島県福島市北五老内町
8-9

従業員：9人（うち障害者3名）

※令和8年2月1日現在

認定日：令和7年4月15日

事業内容

中小企業の労務管理や障害者雇用支援を行うとともに、病気やケガで生活や就労に困難を抱える方への障害年金手続支援も行う社会保険労務士事務所です。

障害者雇用のきっかけは

当法人の「誰もが輝ける社会の実現へ」という理念のもと、まずは自分たちが障害のある方が安心して能力を発揮できる職場をつくりたいと考えたことがきっかけです。

また、障害年金業務を通じて多くの障害のある方と関わる中で、就労の場を広げることも支援の一つだと感じ、雇用に取り組み始めました。自らが取り組むことでその知見をお客様である中小企業の皆様にお伝えしていきたいと考えています。

障害のある従業員の働き方

事務所運営に関わる事務補助として、書類整理、データ入力、発送準備、チェック業務などを担当していただいています。また、動画編集やデザイン制作、HPの更新など広報業務にも携わっていただき、それぞれの得意分野を活かした業務を行っています。勤務形態については、体調や特性に配慮しながら、就業場所の調整も含め無理のない勤務時間・業務量を調整し、安定して働ける環境を整えています。

ともに働くための工夫

業務工程を細分化し、一つひとつの作業を分かりやすく整理しています。また、業務マニュアルの整備を進め、誰でも取り組みやすい仕組みづくりを大切にしています。

日々のコミュニケーションも丁寧に行い、困りごとを早めに共有できる関係性を意識しています。

どうしても不安定な勤怠状況については柔軟に対応し、職員全体で支え合いながら、それぞれの強みを活かせる職場を目指しています。

企業で働く当事者の声

・職場の雰囲気や人間関係がとても良く、分からないことがあっても気兼ねなく質問しやすいです。特定の担当者だけに任せるのではなく、職員全員が関わりながらサポートしてくれます。

・慣れない業務に苦労することもあります。周囲の方サポートもあり少しずつ乗り越えられています。できる仕事があることに成長を感じますし、自分の仕事で事務所の役に立っていると思えることが大きなやりがいです。得意な分野を活かして業務に挑戦できることも励みになっています。

メッセージ



代表
菅野 峻太さん

障害者になりたいと思って障害者になった方は、一人もいません。だからこそ、企業規模や業種、法定雇用率にかかわらず、障害者雇用は健常者として働けている私たちの責務だと考えています。

一方で、障害者雇用は組織を強くするための戦略的な取り組みでもあります。特性や強みを活かすことで、職場はより多様で柔軟になり、新たな価値が生まれると実感しています。

私たちは社会保険労務士法人として、障害者雇用の意義や実践を地域の企業にも広げていく役割があると考えています。今後も、誰もが安心して活躍できる職場づくりを通じて、社会に貢献していきたいと思っています。



執務室の様子
和やかな雰囲気のなか働いています



備え付けの和室は、休憩のほか、子育て世代が子どもを連れて過ごす場所としても活用されています



集合写真
皆様ニコニコです！

(株)三義漆器店

会津若松市/製造業



企業HP

企業データ

所在地：会津若松市門田町一ノ堰
土手外1998-3
従業員：85人（うち障害者5名）
※令和8年2月1日現在
認定日：令和7年10月3日

事業内容

会津塗のお椀やフレートなどのテーブルウェアを全国の量販店へ流通、近年は自然由来の環境にやさしい素材による製品の開発も行っています。

障害者雇用のきっかけは

福島県立テクノアカデミー会津で実施する、障害者向けの職場実習訓練を受け入れた際に、実習のなかで意欲的に業務に取り組む姿を見て、「適切な配慮とサポートがあれば誰もが力を発揮できる」と感じたことが、継続的な取り組みの原点となりました。

障害のある従業員の働き方

製造業では単純・反復的な作業も多いため丁寧で正確な仕事を得意とする方に向いており、そのなかで特性に合わせた得意分野を見つけます。当社では、製造工程の中の出口作業や商品の包装作業などで活躍しており、検品や梱包で高い精度を維持し、品質向上に貢献されています。

ともに働くための工夫

企業での取組方針を明確に提示して、社員の意識を変えたことで、周囲の社員も障がいのある社員に対する「伝え方」や「協力の仕方」を意識するようになりました。徐々に指示をする方のスキルもアップし、チームワークも良くなったと感じています。

企業で働く当事者の声

- ・仕事が細分化され手順が分かりやすく、最初に丁寧に教えてくれたので安心して働けました。
- ・仕事を続けているなかで出来ることが増えてきたことと、任される仕事が増えてきたことにやりがいを感じます。また、業務を行うに当たっては「目標シート」を作成して、面談と共に次の目標が立てられることもやりがいに繋がっています。

メッセージ



代表取締役
曽根 佳弘さん

初めは障がい者と共に働く事への漠然とした不安や生じうる負担感への懸念が障壁になるかと思いますが、障がい者の方が安定して働き戦力として活躍している企業もあります。まずは職場の工夫と社員の理解から始まると考えています。



広い敷地に複数の工場を構え、一貫した製造体制整えています



商品名「なん度も使えて可燃ごみに出せるペコペコしないサトウキビなコップ」は、グッドデザイン賞も受賞しています



創業は昭和10年、設立は昭和40年の、歴史ある企業です



障害者雇用のよくある疑問について、もにす認定企業のみなさまにお伺いしました。

※企業敬称略、回答一部抜粋



障害者雇用を進めるにあたって、どのように社内の理解を得ましたか。



1. 社長自ら働きかけを行う
 2. 障害者に関する研修に参加する・社内で研修を開催する
 3. 障害者の実習を受け入れる
 4. 本人の同意を得たうえで、障害の特性や配慮すべきことを社内で共有する
- ・社内研修の中で経営層から、「障がい者雇用の必要性」「身近な存在であるということ」を法的観点含めメッセージを発信しています。（ミライズ(株)）
 - ・障害者雇用について、経営指針発表会で全従業員に周知を行いました。（(株)三義漆器店）
 - ・障がいへの理解や配慮すべき点を深めるため、「精神・発達障害者しごとサポーター養成講座」への参加を社内で推進し、相互理解の醸成に努めています。また、地元の支援学校からの体験実習を積極的に受け入れ、当社従業員が障がいへの理解を深める機会としても活用しています。（いわき小名浜菜園(株)）
 - ・職場実習を積極的に受け入れることによって、求職者の方々が働くイメージを持てるだけでなく、既存の職員も「どのように接すればよいか」を具体的にイメージすることができると考えています。（(株)あいの里）
 - ・業務に従事して頂く前に、本人に同意を得た上で、どのような障害があるか、働くために気を付けることは何かなどを、一緒に働く社員へ伝えていきます。（(株)東北たまがわ）



障害のある方の指導体制はどのようにされていますか。
指導のうえで意識していることや工夫していることがあれば教えてください。



1. すぐにフォローできる体制づくり
 2. 業務を見える化する、伝え方を工夫する
 3. うまくいかない場合はふりかえりを行う
 4. ステップアップも意識した指導をする
- ・分からないことをすぐに相談できるよう、近くに指導担当者を配置し、常にフォローできる体制を整えています。説明はできるだけ分かりやすい言葉で行い、必要に応じてメモなどで可視化する工夫もしています。また、本人の特性を理解したうえで無理のない業務量とし、小さな成功体験を積み重ねられるよう意識しながら、自信と成長につなげています。（(株)こんの）
 - ・施設職員みんながチームで協力し合うように役割分担をし、声かけするように心がけています。同じことを求めず、特性を活かした役割を担ってもらっています。（(社福)郡山福祉会）
 - ・説明不足ですと誤解が生じやすいため、伝え方は意識しています。（(社福)啓誠福祉会）
 - ・ミスをしてしまった場合や理解が深まっていない場合には、原因と背景の振り返りを必ず行い、必要な場合は作業手順のチェックリストの作成・指差呼称の明示や作業動線等の改善なども行っています。また、障害特性上、指導や改善が弊社だけでは難しい場合は、支援機関の助言も頂きながら、作業内容や指導方法の見直しを行うこともあります。（東北住電精密(株)）
 - ・1人1人に合った丁寧な説明を心掛け仕事の手順を教えるようにしています。また、担当者を決めて、色々な人から色々な指示がされないようにしています。（Seiko(株)）

Q

障害者雇用を進めるなかで、分からないことや悩むことがあった場合、どのように解決していますか。

A

1. 外部の専門機関、関係機関に相談する
2. 社内の相談体制を整える、
3. 他社の事例を学ぶ

- ・ハローワーク、市役所、支援学校、職業センターといった外部の支援機関とのネットワークをフル活用しています。また、自社だけで抱え込まず、外部の支援者に「社員の悩みを聞いてもらおう」など、従業員全体のメンタルケアを依頼することもあります。（(有)利通）
- ・社内だけで解決しようとせず、就労支援機関などの外部専門機関と連携をとっています。本人の特性や適性をプロの視点からアドバイスいただくことで、本人の状態を見極めながらの対応をしています。（(株)あいの里）
- ・社内だけで抱え込まず、必ず定着支援に入っていただきながら対応しています。実際に、コミュニケーションの行き違いがあった際は、外部支援機関の助言やサポートのおかげで円滑に解決することができました。本人との対話を大切にしつつ、職場として改善を重ねています。（ファーマリア社会保険労務士法人：その1）
- ・対応は一人で抱え込まず、複数人で対応するようにしています。（(株)三義漆器店）
- ・障害者雇用に取り組む企業への訪問も行い、他社の良い事例を学びながら、自社の体制づくりに取り入れるようにしています。（ファーマリア社会保険労務士法人：その2）

Q

障害者雇用を進めることで、企業内の雰囲気などは変わりましたか。また、雇用したことで良かったことやメリットがあれば教えてください。

A

1. 業務の多様化や見直しにつながり、生産性が向上した
2. 貴重な戦力として大活躍
3. 企業の空気や風土が良くなった
4. 地域貢献、社会的な価値につながった

- ・社員が自信を持ち、仕事に対する意識が大きく変化しました。また、多様な人材が活躍できるよう、多品種少量生産への移行などの業務改善が進んだことも、企業としての強みになっています。（(有)利通）
- ・社内に思いやりや助け合いの意識が広がり、温かく前向きな雰囲気が生まれました。互いの特性を理解し合う中で対話が増え、組織に一体感が生まれています。また、安全対策や業務の見直しが進み、結果として全社員が働きやすい環境づくりにもつながりました。企業としての社会的評価向上という面でも大きな意義を感じています。（(株)こんの）
- ・障がいのある従業員の皆さんは、日々真面目に責任感を持って業務に取り組んでくださっており、その姿勢に大きな信頼を寄せています。人手不足が続く昨今の社会状況において、当社にとって欠かすことのできない大切な戦力として活躍いただいており、職場を支える重要な存在となっています。（いわき小名浜菜園(株)）
- ・一見簡単だと思っていた業務でも、実は職員それぞれの能力や工夫によって遂行されていることに改めて気づかされました。その結果、業務フローを見直し、工程を整理、工夫することで、職場全体としてミスが減り、より働きやすい環境づくりにつながりました。また、職員が担っていた事務的な業務を任せられることで、職員がより生産性の高い業務に時間を充てられるようになり、組織としての力が高まるメリットを実感しています。（ファーマリア社会保険労務士法人）

福島県の“もにす認定企業”一覧



各企業の取り組み詳細はこちら

番号	企業名	所在地	業種	認定年月日
1	有限会社 利通	会津若松市	製造業	令和2年10月21日
2	株式会社 このの	福島市	卸売業	令和3年4月15日
3	ミライズ 株式会社	福島市	サービス業 専門サービス業	令和3年9月22日
4	いわき小名浜菜園 株式会社	いわき市	農業	令和4年1月20日
5	社会福祉法人 郡山福祉会	郡山市	福祉	令和4年9月2日
6	株式会社 クラロン	福島市	製造業	令和4年11月16日
7	株式会社 サンレディ	福島市	製造業	令和5年12月12日
8	株式会社 あいの里	郡山市	福祉	令和6年1月12日
9	社会福祉法人 啓誠福祉会	小野町	福祉	令和6年4月5日
10	東北住電精密 株式会社	三春町	製造業	令和6年7月17日
11	株式会社 東北たまがわ	白河市	生活関連サービス業	令和6年10月2日
12	柳沼精工 株式会社	二本松市	製造業	令和7年3月5日
13	アルファ電子 株式会社	天栄村	製造業	令和7年3月19日
14	ファーリア社会保険労務士法人	福島市	専門サービス業	令和7年4月15日
15	株式会社 三義漆器店	会津若松市	製造業	令和7年10月3日

企業と障害者が



ともにすすむ